



ハヤブサ

2021. 1 2. 10

ニュース

No.67

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

11・28 集会に参加して

吉水律子



コロナ禍の下でも 70 人近くの方が参加してくださって、集会を盛り上げていただきました。

永井さんが来場されての現地報告が、やはり説得力があると思いました。

東アジアでの日米「ミサイル防衛」体制強化と連動し、京丹後の X バンドレーダー基地の強化が進んでいることに加え、米軍と自衛隊との一体化を図る動きが目に見える形であらわれてきています。軍事費は計 6 兆円を突破したとの報道もあり、人々の命や暮らしを顧みずにひたすら軍拡に突き進む日本政府の姿勢に腹立たしい思いです。

「基地はどこにもほらない!」という各地の闘いととともに、私たちもいろいろな形で闘いを進めていかななくてはなりません。

また、「思いやり予算」の増大を止めさせ、各地で米軍の横暴を許している日米地位協定の見直しを強く求めていかなければならないと思います。

「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ

第 129 回 11 月 11 日 (木) 出町商店街周辺 4 人

この日は三井別邸の一般公開日で、出町柳で配っていたら”どこにある?”と尋ねる人が多くて、まるで案内人役をさせられたと苦笑する参加者も。

<街の人の声>

●昔、子どもを連れてエンタープライズ入港反対闘争に参加した。鹿屋自衛隊基地(鹿児島県)の近くに住んでいた。基地の近くは大変だ。頑張ってください(年輩の女性) ●友人にも見せたいからと 3 枚持ち帰ってくださった女性。 ●基地のある事を知らない人はまだまだ多い。

11 月 22 日 (月) 下鴨高木町は雨で中止



今後の予定

第 130 回 12 月 10 日 (金) 大手筋商店街 終了
報告はハヤブサ 1 月号になります。

第 131 回 12 月 21 日 (火) 東寺 周辺

集合場所: 近鉄「東寺」駅前

時間はいずれも 11:00 ~ 12:00 です

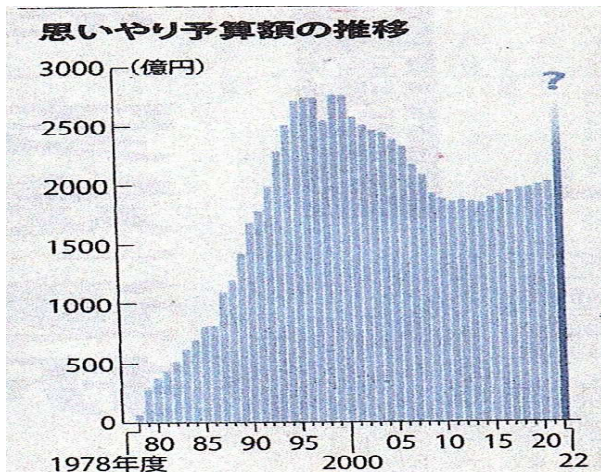
ご都合の付く方は、集合場所にお集まりください
連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)

米軍への思いやり予算の大幅増額を許さない

「中国脅威論」を口実にした軍拡・戦争準備に反対しよう

池田高巖

思いやり予算が過去最大の伸び幅に



米軍への「思いやり予算」が大幅に増額されようとしている。2021年度分は2017億円だが、2022年度はそこからさらに過去最大の伸び幅となる500億円以上を積み増し、当面は年間2000億円台後半にするという。

思いやり予算は、基地従業員の給与や米兵の住宅・娯楽施設、水光熱費などに費やされている。それに加えて現在の日米政府間の交渉では、日米共同訓練など経費項目を新たに設ける案が検討されているという。実際、日米合同軍事演習はこのかんますます頻繁化しており、その経費を米軍側の経費を含めて日本の人々の税金で賄い、そのために思いやり予算を大幅増額させようという計画だ。とても認められるものではない。

支払う義務のないはずのお金が…

そもそも現行の日米地位協定(24条)では、駐留米軍の経費は地代などを除いて、一切米国が負担することになっている。つまり、思いやり予算の提供が始まった1978年以来、支払う義務のないお金が税金から支出され、それが年を追って拡大し、今回さらに増額されようとしているのだ。とくにこのかんのコロナ禍の状況を見れば、そんなところにお金

をつぎ込むべきではないということは明らかだろう。

年間8000億円規模が続く在日米軍経費

ただ、日本政府が在日米軍のために提供しているお金はそれだけではない。思いやり予算に加えて、辺野古新基地建設や岩国基地強化などの米軍再編関係経費やSACO(沖縄に関する特別行動委員会)関係経費、基地交付金などを合わせると、このかん年間8000億円規模の税金が在日米軍の維持・強化に費やされている。その増大はとくに第二次安倍政権の発足以降顕著だ。

また、これも安倍政権以来の特徴として、オスプレイやF35ステルス戦闘機など米国製の兵器を大量購入することで、米国の軍産複合体を支えている。岸田政権もまた、この道を追おうとしている。

軍拡・戦争準備とたたかおう

毎日新聞は思いやり予算の大幅増額に向けた動きの背景について、「軍事力を強化する中国を念頭に在日米軍との連携強化が欠かせないと判断し、防衛力強化を図る」という日本政府関係者の意図を紹介している。「中国の脅威」を口実にして、在日米軍への財政支援を強めようというのだ。また同様に、日本の防衛予算概算請求も5兆5000億円近くに達し、自民党は防衛予算の二倍増(11兆円、GNPの1%から2%へ)に踏み出している。

いまや「中国の脅威」は軍拡のための錦の御旗となり、それを口実に、私たちの税金を投入して日米安保と自衛隊の海外派兵体制の強化、改憲・戦争準備がおし進められようとしている。しかしそれはコロナ禍における失政から人々の目を背けさせ、貧困と格差が拡大する中で排外主義的に「国民統合」を図ろうとするものだ。今こそ主権者として立ち上がり、この危険な道に抗して、沖縄やアジアの人々と連帯して平和を実現する道を進むべき時だ。

1月の京丹後訪問のご案内

1月18日(火)、1月27日(木)

集合・出発 午前8時30分、鴨川五条大橋
西詰のガソリンスタンド前

- 2 - 参加予定の方は事前に連絡を池田まで

(携帯 090-7108-5508)

11/26～12/3

辺野古埋め立て設計変更「不承認」支持キャンペーンin京都



『辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会』の呼びかけに応じて、京都では玉城デニー沖縄県知事による「不承認」決定の翌日の11月26日から12月3日までの8日間、午後6時から7時までの1時間河原町三条のアーケード前で『辺野古埋め立て設計変更「不承認」支持キャンペーン in 京都』としてリレートーク、チラシ配布、署名活動に取り組みました。

この場所は『沖縄・辺野古への新基地建設に反対し、普天間基地の撤去を求める京都行動★』さんが17年間毎週土曜日に街頭宣伝を続けて来られた場所でもあり、「ごくろうさま」「ありがとう」と声をかけてチラシを受け取る市民が何人もおられました。

キャンペーン期間を通じての参加者は延べ78名、街頭以外で配布したものも合わせてチラシの受け取りは総計886枚、署名委託1件、完成署名12枚(60名分)、カンパ1件500円という結果でした。

京都市民の間に広く世論喚起をしたとは言えませんが、「不承認」支持を目に見える形で示したとはいえると思います。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございます。

政府・防衛省は、玉城デニー知事の「不承認」に対してまたも行政不服審査法に基づく不服審査申立という「法理」も「道理」も無視した暴挙に出ようとしています。そして来年1月23日には名護市長選、11月28日には沖縄県知事選と政治闘争も続きます。引き続き京都の地での取組を進めましょう。『辺野古埋め立て反対！京都実行委員会』
増野徹

今年はやります大ユンタク



辺野古ブルーの闘い

川口真由美さんと

おもちゃ楽団

日時 2021年12月26日(日) 14:00～17:00

場所 京都府部落解放センター

地下鉄 烏丸線鞍馬口下車上ル 烏丸紫明角

参加費 2000円程度(応相談)

なかなか会員相互の交流はかきませんが、今年「大ゆんたく」なんとか開催します。

日頃の皆さんの沖縄への思いなど和気あいあいと語りあえたらいいなあと思います。

11月25日の玉城デニー知事による辺野古埋め立て計画変更「不承認」にもかかわらず政府は12月7日に不承認取り消しを申請し、工事を強行しています。

来年は1月23日の名護市長選、そして11月28日予定の沖縄県知事選と重要な選挙があります。

京都の地で私たちに何ができるかも語り合いましょう。

連絡先 090-4643-2940(増野)

mashino@par.odn.ne.jp

訃報

12月8日、「京都連絡会」結成当時から会計など役員を引き受けられ、宇川現地行動や集会などではいつも受付で会員と接触されていた福井きよ子さんが12月8日、亡くなりました。享年89歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

以前、No Base!の運営委員をされておられた関俊子さんがお亡くなりになりました。

「京都行動」の創設から毎週街宣に参加されておられた沖縄への思いが熱い方でした。大切な方が足早に逝かれ深い悲しみに沈んでいます。今はただご冥福をお祈りするばかりです。

2022年度「京都連絡会・総会」と「近畿連絡会の旗開き」のご案内

日程：2022年2月6日(日)

会場：キャンパスプラザ京都 2Fホール

「京都連絡会総会」

13時15分～午後3時20分 参加費無料

「近畿連絡会旗開き」

15時45分～17時10分 参加費1000円

米軍が沖縄の PFAS 汚染を矮小化 検出値や汚染源 国防関係の米有力議員に不誠実な回答

2021年12月6日 06:30

Hope you are well. Forgive me if you are not the correct POC, but I am trying to find out more information about DOD's efforts with respect to PFAS contamination at US military installations in Okinawa. Has DOD identified PFAS contamination? If so, what is DOD doing to mitigate and remediate and what efforts has DOD made to work with the local governments to protect individuals from contamination in the surrounding communities. Any information you can share would be greatly appreciated. If it is easier to hop on the phone please give me a call at (b) (6) to discuss.

Best,

【ジョン・ミッチェル特約通信員】

米軍が2018年、米上院軍事委員会の有力議員から沖縄の有機フッ素化合物PFAS(ピーファス)汚染状況の報告を求められ、矮小(わいしょう)化した不正確な回答をしていたことが分かった。本紙が米情報公開法でメールを入手した。軍事委は米軍に関する大きな権限を持っており、有力議員への不誠実な対応は問題になりそうだ。」

上院軍事委所属のジーン・シャヒーン上院議員(民主党、ニューハンプシャー州選出)の事務所は18年秋、国防総省に(1)沖縄のPFAS汚染を把握しているか(2)汚染の軽減や浄化の方策(3)周辺住民の健康を守るために地元自治体とどう協力しているか—の3点について情報提供を求めた。

これに対し米軍は18年10月18日、普天間飛行場の消火訓練施設は汚染されているものの、基地が排出する雨水からはPFASの一種のPFOS(ピーホス)とPFOA(ピーホア)が1リットル当たり計5ナノグラム(ナノは10億分の1)未満しか検出されなかったと報告した。

現行の日本の暫定指針値計50ナノグラムを大幅に下回る水準だが、これはミスリードな表現だった。検出地点は訓練施設から約1.5キロ離れており、しかも水路で接続されていなかった。

米軍は別のメールで、日本政府が嘉手納基地内を通る大工廻川を調査し、合流する比謝川のPFO S汚染には「別の原因」があると結論付けた、と主

張した。米軍が汚染源でないと受け取れる表現をしている。また、実態に反して基地内に立ち入って環境汚染調査ができたかのようにも書いている。

さらにメールは嘉手納基地内の消火訓練施設や井戸、普天間飛行場周辺の湧き水の深刻な汚染に言及せず、地元自治体との協力についても回答していない。

シャヒーン氏の事務所は本紙の取材に応じていない。在日米軍には18年のメール以降、より正確な情報をシャヒーン氏に提供したかどうか尋ねたが、回答はない。

シャヒーン氏は国防関係の立法や予算を監督する上院委員会の有力議員で、米軍基地によるPFAS汚染の浄化や飲料水健康被害の調査を主導してきた。

名護市長選 勝利のために

2022年1月16日告示、23日投開票の名護市長選が闘われます。

「オール沖縄」は、辺野古新基地建設反対を明確にして市長選に立候補した岸本洋平名護市会議員を支援しています。

先の衆議院選挙で名護市を含む沖縄第三区で「オール沖縄」の屋良朝博氏が自民党に負けていますので厳しい戦いになります。

11月25日、玉城デニー知事は、防衛省が軟弱地盤を埋め立てるために提出した設計変更を不許可とし、辺野古埋め立て中止せよ、と通告しました。

これに対して沖縄防衛局は工事を続行しつつ、12月7日に行政不服審査法に基づく知事の承認の取り消しを国土交通大臣に申請しました。

辺野古埋め立てを巡る闘いが緊迫しています。No Base!が用意している激励の寄せ書き、街頭での宣伝、資金カンパなどで岸本洋平さんを支え、沖縄・名護市民と連帯しましょう。

2022年「1月 例会」のお知らせ

No Base!と「京都連絡会」合同の「例会」となります。
名護市長選の報告と今後の沖縄闘争についてじっくり語り合しましょう。

日時 2022年1月26日(水)18:30～
場所 ひとまち交流館 第一会議室
講師 大湾 宗則さん
無料